

公開実用 昭和63- 33257

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑨ 公開実用新案公報(U) 昭63-133257

⑫ Int.Cl.⁴
A 63 B 51/12

識別記号 庁内整理番号
2107-2C

⑬ 公開 昭和63年(1988)8月31日

審査請求 未請求 (全 頁)

⑭ 考案の名称 ガット張力調節可能な、テニスラケット

⑮ 実 願 昭62-25761

⑯ 出 願 昭62(1987)2月24日

⑰ 考 案 者 高 橋 仁 神奈川県横浜市戸塚区舞岡町29
⑱ 出 願 人 高 橋 仁 神奈川県横浜市戸塚区舞岡町29

明 細 書

1. 考案の名称 ガット張力 調節可能な、テニスラケット

2. 実用新案登録請求の範囲

テニスラケットのフレームに、ガット巻取りシリンダーを取付け、調整ビスにより、相対する縦、横のガットの張力を認意に調節及、一本毎交換できるようにしたテニスラケット。

3. 考案の詳細な説明

この考案は、実際にプレイを行おうとする時、あるいはプレイ中にガットの張力をその場で調節したい時、そして通常、縦か横方向の一本が切断する時、即座に対応できること等を目的としたものである。

従来、ラケットのガット張りは、メーカー又はスポーツ店等で機械治具を用い、1～2本の連続した糸を用い、編まれている。このことにより、ガットの張力が弱くなってきたり、コートやボールの条件等で張力を変更したい時は、メーカーやスポーツ店に持込み、全体の張り替え等しなければならず、不便であり、高価となり、この為張力の異なる複数のラケットをあらかじめ用意する等対応していた。又、プレイ中、ガットが切断した時は連続糸使用のため、1ヶ所の切損でも全体が緩み、使用不能となる。そして同様に全体の張り替えとなり、対応策として、数本のラケットを用意する必要があった。

本考案は、1本のラケットでプレイの条件に合わせ、張力をその場で調節し、もし、ガットが切断しても、切断個所以外のガットの張力変化がなくプレイ続行が可能で、しかもその個所をワンタッチで交換することができる。これらの構造を図面で説明すれば、

ラケットのフレーム(1)に縦及び横方向に対応する位置にガット巻取りシリンダー(2)を埋込み、ラケットの表側に調整用ビス位置とし、ラケット裏側にシリンダーの堅さ調整及び緩み防止用のロックビス(4)がスプリングワッシャ(5)を介し取付られる。

BEST AVAILABLE COPY

ガット巻取りシリンダーは、円錐状とし、中央部にガット貫通孔を有し、巻取りスペースとして凹型形状としている。

これを使用せんとする時は、 フレーム内側よりガットをシリンダー貫通孔に、通し、ドライバーを用い1～2回転し、ロックビスで固定、対応する側のシリンダーにも貫通させ調整ビスで認意の張力とする。この要領にて縦横全てを張り調整する。 切断時は、同要領で、対応する1本のみ取替えれば良い。調整法は、ロックビスを少し緩め、調整ビスで調節し、ロックビスを締める。

4. 図面の簡単な説明

第1図はテニスラケット ガット取付状態

第2図はラケット表面フレーム拡大図

第3図はガット巻取りシリンダー断面及び取付詳細図

- (1) はフレーム
- (2) はガット巻取りシリンダー
- (3) はガット
- (4) はロックビス
- (5) はスプリングワッシャー

図 1

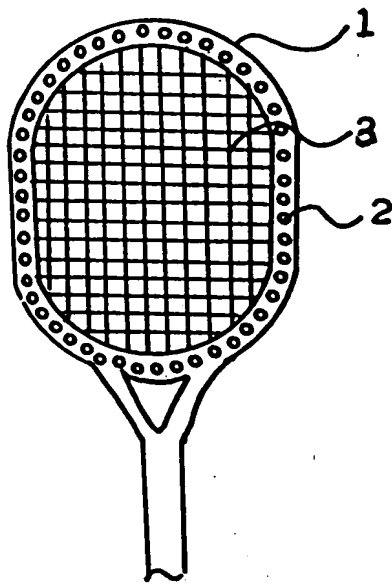


図 2

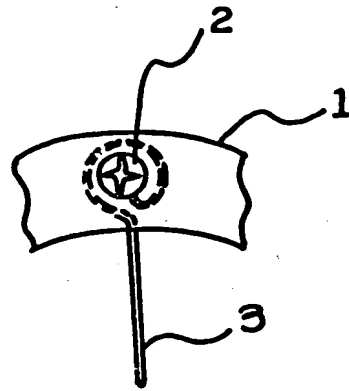
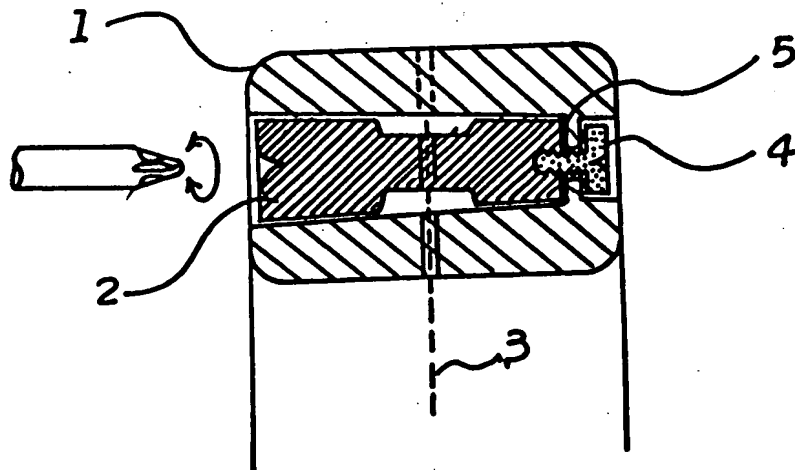


図 3



601
実用新案登録出願人 高橋 仁